

(別紙5)

整理番号 2019P-001
補助事業名 2019年度 東京五輪・パラリンピックに向けた自転車競技の競技力向上
(強化指定選手遠征)に資する事業 補助事業
補助事業者名 (公財)日本自転車競技連盟

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

世界選全種目出場権を得るため、より一層の選手強化を図り、東京オリンピック開催に向けた将来的な自転車競技の普及・振興に寄与し、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

- ①トラック世界選手権 (2020年2月26日~3月1日・ドイツ)
派遣選手団30名(選手15名・スタッフ15名)



派遣選手団



男子チームパーシュート



女子オムニアム



(別紙5)

男子ケイリン



男子スプリント



男子オムニアム



女子スプリント



女子ケイリン

②ロード世界選手権 (2020年9月20日～10月3日・イギリス)

派遣選手団10名 (選手4名・スタッフ6名)

③MTB世界選手権 (2020年8月25日～9月3日・カナダ・モンサンタン)

派遣選手団13名 (選手9名・スタッフ4名)



派遣選手団

(別紙5)



XCO女ジュニア



DHI男子エリート



XCO男子エリート



DHI男子

④BMX世界選手権 (2019年7月18日~7月29日・ベルギー・ヒュースデン)

派遣選手団17名(選手8名・スタッフ9名)



派遣選手団



選手フィードバック

(別紙5)



女子ジュニア



男子ジュニア



男子エリート



女子エリート

⑤シクロクロス世界選手権 (2020年1月28日~2月4日スイス・デューベンドルフ)

派遣選手団12名(選手6名・スタッフ3名+現地スタッフ3名)



派遣選手



ジュニア男子



アンダー23男子



エリート女子

⑥トライアル世界選手権 (2019年11月6日~9日 中国・成都)

派遣選手団 9名(選手6名、スタッフ3名)

⑦アジア大会 トラック (2020年10月17日~21日・韓国)

派遣選手団35名(選手16名・スタッフ8名)

(別紙5)



男子ケイリン



男子スプリント



女子ケイリン



女子スプリント



男子マディソン



女子マディソン



男子オムニアム



女子オムニアム

MTB (2020年7月23日~7月30日・レバノン)

派遣選手団21名(選手17名・スタッフ4名)

(別紙5)



選手団



男子エリート



男子エリート・クロスカントリー



国別リレー



女子ジュニア



男子ジュニア

(別紙5)

BMX (2019年4月8日~4月13日・マレーシア・ネーライ)
派遣選手団27名(選手21名・スタッフ6名)



男子エリート 表彰式



女子エリート 表彰式



ジュニア男子 表彰式



ジュニア女子 表彰式



派遣選手団



⑧ワールドカップ派遣トラック 第1戦 (2020年11月1日~3日・ベラルーシ)
派遣選手団6名(選手3名・スタッフ3名)



男子ケイリン



男子スプリント

(別紙5)



女子ケイリン



女子スプリント

第2戦 (2020年11月8日~10日・イギリス)
派遣選手団12名 (選手7名・スタッフ5名)



男子ケイリン



男子スプリント



女子ケイリン



女子スプリント



男子オムニアム



女子マディソン

(別紙5)

第3戦 (2020年11月29日~12月1日・香港)

派遣選手団22名 (選手11名・スタッフ12名)



男子ケイリン



男子スプリント



女子ケイリン



女子スプリント



男子オムニアム



女子マディソン



男子ケイリン



男子スプリント



女子ケイリン



女子スプリント

第4戦 (2020年12月6日~8日・ニュージーランド)
派遣選手団9名 (選手12名・スタッフ12名)



男子チームスプリント



女子チームパーシュート



女子スプリント



男子ケイリン



男子スプリント



男子オムニアム



女子オムニアム



女子スクラッチ



女子マディソン



男子マディソン

第5戦 (2020年12月13日~15日・オーストラリア)
派遣選手団26名 (選手12名・スタッフ12名)



派遣選手団



男子スクラッチ



男子チームスプリント



男子ケイリン



男子スプリント



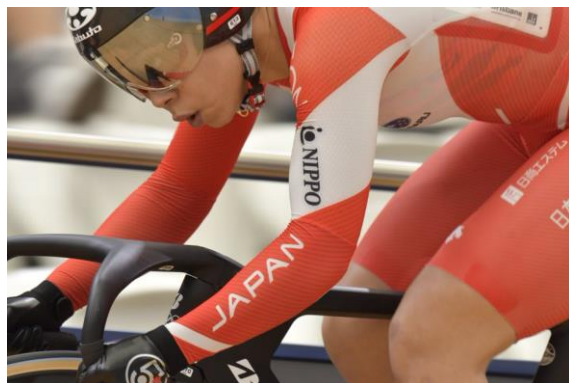
男子オムニアム



女子チームパシュート



女子ケイリン



女子スプリント

(別紙5)



女子マディソン

第6戦 (2021年1月24日~26日・カナダ)
派遣選手団11名 (選手5名・スタッフ6名)



男子ケイリン



男子スプリント



女子マディソン



女子オムニアム

MTB 第1戦 (2020年5月13日~5月20日・ドイツ)
派遣選手団5名 (選手2名・スタッフ3名)
第2戦 (2020年5月21日~5月28日・チェコ)
派遣選手団4名 (選手2名・スタッフ2名)

(別紙5)

BMX第1-2戦 (2019年4月16日~4月29日・イギリス・マンチェスター)
派遣選手団14名 (選手8名・スタッフ6名)



第5-6戦 (2019年5月24日~6月10日・フランス・パリ)
派遣選手団8名 (選手5名・スタッフ3名)



第7-8戦 (2019年9月4日~9月15日・アメリカ・サウスカロライナ)
派遣選手団10名 (選手7名・スタッフ3名)

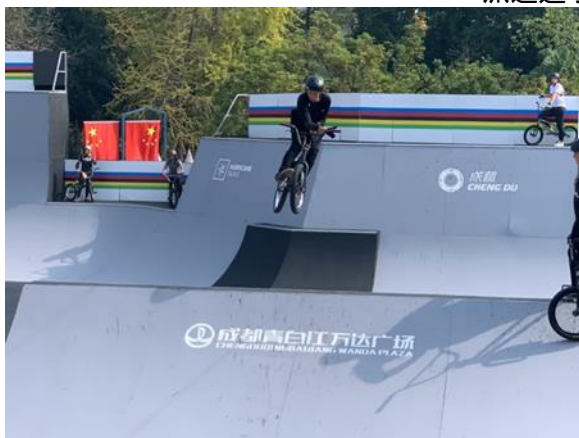


第9-10戦 (2019年9月16日~10月2日・アルゼンチン・サンティアゴ)
派遣選手団10名 (選手7名・スタッフ3名)



(別紙5)

⑨アーバン種目世界選手権 (BMXフリースタイル 2020年11月4日～11日 中国・成都)
派遣選手団9名(選手6名・スタッフ3名)



女子・大池



男子・中村



⑨クラス I & II

- トラック 2020年5月27日～5月29日 2019 Grand Prix of Tula (ロシア)
派遣選手団13名(選手8名・スタッフ5名)
- 2020年6月1日～6月3日 2019 Grand Prix of Moscow (ロシア)
派遣選手団13名(選手8名・スタッフ5名)
- 2020年6月5日～6月7日 2019 Grand Prix of Saint Petersburg (ロシア)
派遣選手団13名(選手8名・スタッフ5名)
- 2020年7月13日～7月14日 JICF 国際トラックカップ (日本)
派遣選手団 6名(選手4名・スタッフ2名)
- 2020年8月23日～8月25日 ジャパントラックカップ (日本)
派遣選手団38名(選手22名・スタッフ16名)
- 2020年8月30日～8月31日 中国トラックカップ (中国)
派遣選手団2名(選手1名・スタッフ1名)
- MTB 2020年10月3日～10月7日 東京五輪テスト大会マウンテンバイク (日本)

2 予想される事業実施効果

日本選手が世界トップ選手と互角に戦えることが示され、次に続くジュニア世代にも良い刺激を与えている。ジュニア選手を育成できる強化体制の確立も急務となっており、2020東京とその先に向けた日本選手の競技力向上に期待ができる。

ロード種目において、世界選手権大会は数少ない日本でも生中継での放送がある大会であり、同大会の出場権の獲得および派遣は JCF 競技登録者数の中でも大半を占めるロード種目の競技普及に大きく寄与するものである。

(別紙5)

シクロクロス種目において、いま世界的にシクロクロスの人気が高まっています。ヨーロッパのトップロード選手がシクロクロスのトップ選手だったり、ロードに必要な能力もシクロクロスで養えるということが証明されています。

バイクコントロールそして高強度の能力と身につけられるので、ロード選手のオフシーズンのトレーニング、特に若い世代の流入に期待しています。

レース開催にもロードレースのように交通規制なども厳しくなく、そういう意味では日本では今以上にシクロクロスが定着し、世界レベルを追いかけるための土壌を作ることは難しいことではないと思います。

シクロクロスからロードや MTB にも流用できる。選手強化のための手段としても期待できると思います。

トライアル種目において、トライアルの盛んな欧州の選手との技術・体力はユース年代では対等でありますが、ジュニア・エリートになると格段に差が出てきます。そこを埋めるために世界選手権で経験したことを踏まえて、強化指定選手を中心に技術・体力の向上を図ることで、更に成果が期待できることと思います。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

なし

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名：公益財団法人日本自転車競技連盟（ニホンジテンシャキョウギレンメイ）

住所：〒141-0021

東京都品川区上大崎 3-3-1

代表者：佐久間 重光

担当者名：黒江 祐平（クロエ ユウヘイ）

電話番号：03-6277-2690

F A X：03-6277-2690

E-mail：oshima@jcf.or.jp

URL：<http://jcf.or.jp/>